

1997年4月の大気大循環と世界の天候

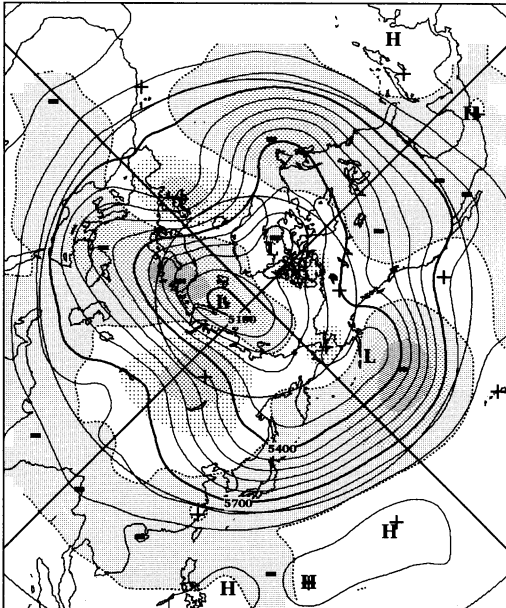
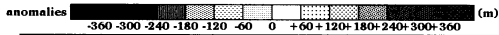
大気大循環

北半球 500 hPa 高度場を見ると、中央シベリアおよびイギリス付近が顕著な正偏差に覆われた。一方、北太平洋、北大西洋および北極海から東ヨーロッパにかけては負偏差に覆われた。ヨーロッパ付近には先月から引き続きブロッキング高気圧が見られ、中旬にかけて強まったが、下旬には勢力が弱まった。また、中央シベリアにも顕著なブロッキング高気圧が現れ、中旬に勢力が強くなったが、下旬にかけて弱まっていった。これらのブロッキング高気圧の影響で偏西風の分流が顕著に見られた。200 hPa の速度ポテンシャル分布図を見ると、アフリカからインド洋西部にかけての赤道域に平年より強い発散域が見られた。SOI は -1.1 と 2 か月連続して負の値となった。

世界の天候

① シベリアと東アジアの高温

月平均気温は前月に引き続き、多くの地域で平年より高くなった。この高温傾向は、昨年12月より継続している。上旬にはモンゴルで火災が多発したと報じられた。



1997年4月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差
等値線間隔、偏差パターン間隔は60 m。平年値は1961～1990年のデータに基づくもの。

② インドとチベットの低温

③ ヨーロッパ東部の低温多雨

ヨーロッパ東部では低温多雨となった。中旬にはルーマニアで寒波による積雪や強風による被害が報じられた。

④ ヨーロッパ西部の高温

ヨーロッパ西部では1月から高温少雨が継続しているところがあり、その影響が報じられた。

⑤ サヘルが多雨

⑥ 南アフリカ共和国の低温

⑦ アメリカ合衆国の低温多雨

月平均気温は多くの地域で平年より低くなり、月降水量は合衆国南部で多雨となった。中旬以降に合衆国中西部北部とカナダ南部で洪水による被害が報じられた。

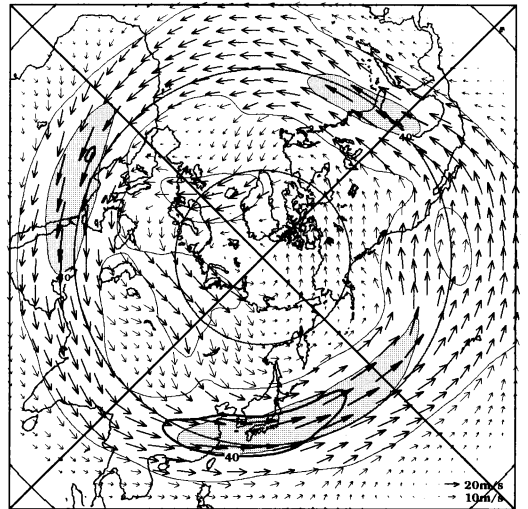
⑧ アルゼンチン北部の高温少雨

月降水量は、カリブ海周辺、アルゼンチン北部、チリ北部では平年より少なく、特にアルゼンチンでは無降水の所があった。

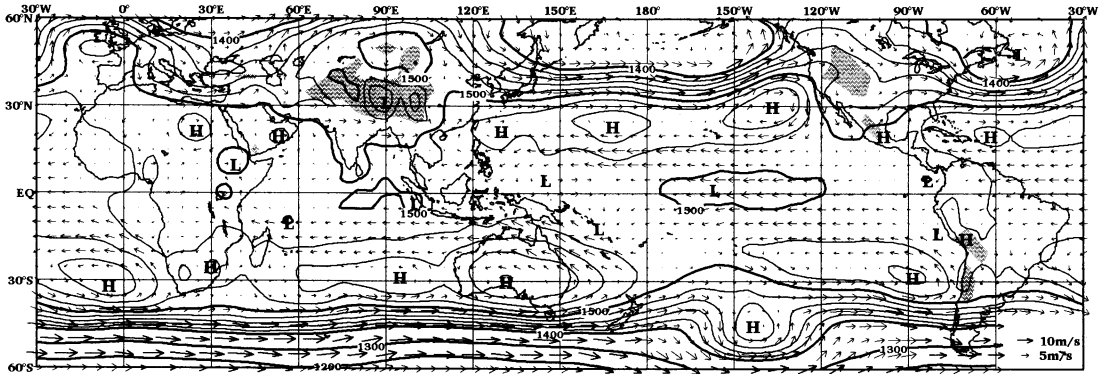
⑨ ポリネシアの高温

⑩ オーストラリア東部の低温少雨

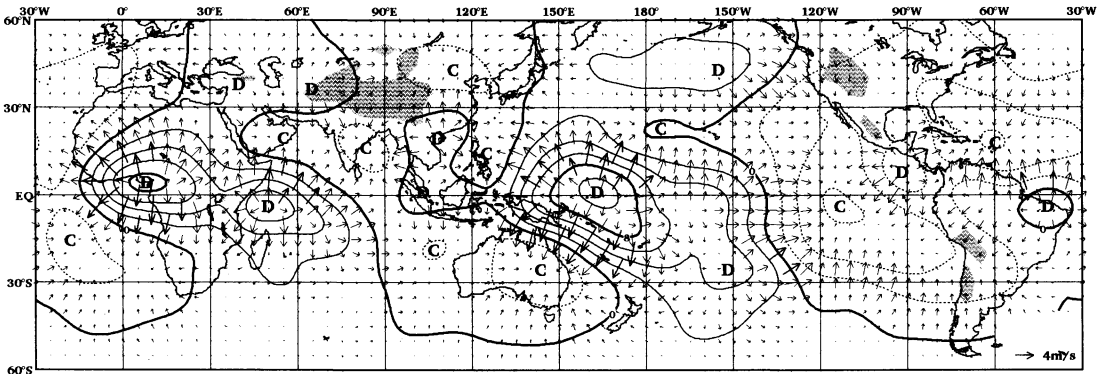
(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 石原幸司)



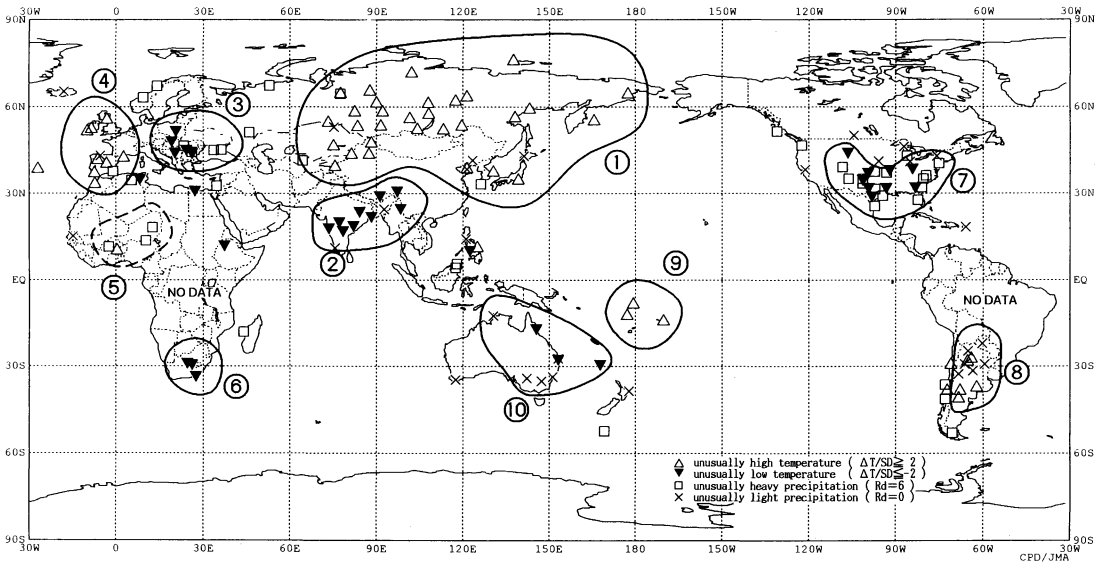
1997年4月の北半球月平均200 hPa 風速およびベクトル
等値線間隔は20 m/s。陰影部は平年で40 m/s以上。平年値は1979～1996年のデータに基づくもの。



1997年4月の月平均850 hPa 高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 m までは100 m)



1997年4月の月平均200 hPa 速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



1997年4月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.